

令和4年度 社会福祉史の市民講座

受講料無料

主催：大阪社会福祉研究会、大阪市社会福祉研修・情報センター

令和4年9月17日(土) 午後1時30分～4時

1922年の8月～9月、第1次世界大戦とロシア革命に伴う内戦で行き場を失ったポーランドのシベリア孤児390人と47人の付添人が大阪にて滞在し、手厚いお世話と献身的な看護を受け、その後、祖国へと無事に帰国したという出来事がありました。今年はその100周年です。

今の時代にこそ、あらためて日本とポーランドの歴史の中で重要なこの出来事について学び、福祉、平和、国際交流の意義について考えます。

当センター1階にて、ポーランド児童救済事業に関する写真や資料の特別展示を行います。



～ 内容 ～

・講演会(第1部)

『大阪におけるポーランド児童救済事業の足跡』

福田会育児院史研究会 村上 葵 氏

・報告会(第2部)

・『ポーランド児童救済事業の歴史的意義』

人道の港 敦賀ムゼウム 館長 西川 明德 氏

・『日本赤十字社大阪府支部の取り組み』

日本赤十字社大阪府支部 総務課 中川 俊彬 氏

【場 所】 大阪市社会福祉研修・情報センター4階 会議室

【定 員】 30人

【対象者】 大阪市内在住・在学・在勤であればどなたでも参加可能

【申込方法】 申込欄に記入のうえ FAX・郵送・持参で受付

【申込締切】 9月7日(水)午後5時必着
※定員に達し次第締切

「大阪におけるポーランド児童救済事業の足跡」 FAX:06-4392-8272

(ふりがな)		年齢	歳
名前		職業	
住所	〒 —		
連絡先	携帯・自宅		
ご要望	車いす使用の方、手話通訳、拡大文字資料などが必要な方は、その旨ご記入ください。		

※提供していただきました個人情報につきましては、名簿の作成、資料の送付等研修事業の運営のためにのみ使用し、他の目的で使用したり、第三者へ提供することはありません

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、中止又は延期する場合があります、予めご了承ください。

大阪におけるポーランド児童救済事業の足跡

100周年記念